TAKE FREE

With

JA愛知厚生連広報誌

夏
2026.Summer
【No.510】

特集2
稲沢厚生病院のこの一年

特集
令和7年度 業務報告ハイライト

Top message

地域とともに、
地域医療を守り抜く。

日頃より組合員、ＪＡ役職員、行政をはじめ地域の皆さまには、本会運営にかかるご協力に対し厚くお礼申し上げます。この度の通常総会において、中央会、厚生連、共済連の会長に就任いたしました。

わが国では高齢化の急速な進展により、医療・介護需要が増加しています。一方で、労働人口の減少に伴う医療・介護人材の不足は深刻さを増しており、医療機関を取り巻く環境はますます厳しいものとなっています。加えて、近年の物価高騰は病院経営にも大きな影響を及ぼしており、安定的な医療提供体制を維持するうえで重要な課題となっています。こうした状況のなか、令和８年度の診療報酬改定においては、物価上昇や医療従事者の処遇改善に一定の配慮がなされました。本会といたしましては、この機会を活かしながら、引き続き健全な経営基盤の確立に努めてまいります。

また、本会の最も重要な財産は「職員」であるという認識のもと、「人的資本経営」をさらに推進してまいります。昨年度はエンゲージメント調査を実施し、職員一人ひとりの声に真摯に向き合いながら、具体的なアクションプランを策定・実行することで、職員がやりがいをもって働ける職場環境の実現を目指します。働き方改革や人材育成とあわせて、職員の能力を最大限に引き出す組織づくりに取り組んでまいります。

ＪＡや医療を取り巻く環境は大変厳しく、そして刻々と変化しています。このような状況の中で、ＪＡグループ愛知の一員として、地域医療を守り抜くことが私たちの使命です。引き続き、役職員が一丸となって、地域住民の皆さまの信頼と期待に応え、地域にふさわしい医療を提供してまいります。

今後ともかわらぬご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

経営管理委員会　会長
長谷川 浩敏

略歴

昭和31年生まれ（69歳）
令和８年６月　ＪＡ尾張中央 組合長（再任）
ＪＡ愛知中央会 代表理事会長（再任）
ＪＡ愛知厚生連 経営管理委員会会長（再任）
全共連愛知県本部 運営委員会会長（再任）
ＪＡ愛知信連・ＪＡあいち経済連 経営管理委員（再任）

役員紹介

第78回通常総会において選任された経営管理委員ならびに監事を紹介します。（経営管理委員14名、監事4名）

経営管理委員

経営管理委員会 会長
長谷川 浩敏
尾張中央 農業協同組合
組合長

経営管理委員
平野 和実
あいち海部 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
大竹 博久
あいち三河 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
市川 耕一
あいち尾東 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
布目 勝
なごや 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
栗本 宗典
愛知北 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
鈴木 重幸
あいち中央 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
都築 敏和
西三河 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
早川 信
あいち豊田 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
杉江 繁宏
ひまわり 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
間瀬 浩文
愛知みなみ 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
山口 哲也
愛知西 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
西郷 和久
豊橋 農業協同組合
代表理事組合長

経営管理委員
加藤 勇二
有識者
愛知県農業協同組合中央会
副会長

監事

代表監事
竹下 武重
愛知東 農業協同組合
代表理事組合長

常勤監事
田中 敢
学識経験

監事
伊藤 勝弥
あいち知多 農業協同組合
代表理事組合長

監事
伊藤 辰也
学識経験

6月30日に開催されました臨時経営管理委員会において選任された理事を紹介します（理事5名）

理事

代表理事理事長
宇野 修二
学識経験

代表理事常務
今井 昇
学識経験

常務理事
鈴木 憲彦
学識経験

理事
度會 正人
学識経験

理事
伊藤 浩一
学識経験

令和7年4月1日〜令和8年3月31日

地域とともに、地域医療を守り抜く。

物価高騰や医療・介護の人材不足など、病院にとって厳しい経営環境が続くなか、職員一丸となって取り組んだ結果、令和7年度の事業目標を大幅に達成することができました。
引き続き困難な課題は山積しておりますが、「地域とともに、地域医療を守り抜く。」という基本姿勢のもと、皆さまの期待に応え、質の高い医療・保健・介護を提供してまいります。

01 医療事業

救急隊や近隣医療機関との連携をさらに強化し、多くの患者さんを受け入れました。

がん診療体制の充実

がんの診療体制を充実するため、通院治療センターを増床(江南・豊田)し、より多くの患者さんへ対応できる体制を整えました。

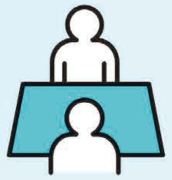
在宅医療の強化

高齢化が40%を超える地域にある足助病院が「在宅療養支援病院」の指定を受け、訪問診療・往診体制を強化しました。

医療DXの推進

看護記録支援システム「チームコンパス」を導入(海南・江南・豊田・知多)し、安全で効率的なケアを推進しています。

地域連携の強化



大規模病院・中規模病院はそれぞれの役割に応じて地域の医療機関・介護施設と連携し、地域全体で医療提供体制を構築しています。

渥美病院が地域災害拠点病院に指定されました。

令和6年能登半島地震において、半島では物資や支援が届きにくいという教訓を踏まえ、渥美病院は地域災害拠点病院の指定に向けた取り組みを進めてまいりました。その結果、令和8年度より正式に指定を受けることとなりました。いざというときも、地域の皆さんの命を守る体制を整えています。

02 保健事業

まちかど健康チェック

一般健診・人間ドックを合わせて年間約12万件を実施しました。皆さんの健康維持・増進を図るため、引き続き質の高い健診サービスを提供してまいります。

- 江南厚生病院で人間ドック施設機能評価の更新審査を受け、健診の質の改善を図りました。
- Instagramによる健康レシピの発信やＪＡあいち経済連のコミュニティ型ライブ配信講座サービスtomonityでの健康教室ライブ配信(計11回)を通じて、健康情報を幅広くお届けしました。
- ＪＡ共済連愛知との共同キャンペーンで、366名の方が新規に健診を受診されました。
- 「まちかど健康チェック」を10ＪＡ・計23会場で開催し、組合員の皆さんの健康意識の向上に貢献しました。

03 高齢者福祉事業

リーダー研修会

介護サービスを年間約21.6万件提供しました。地域の皆さんが住み慣れた場所で安心して暮らし続けられるよう、訪問介護から施設サービスまで幅広く対応しています。

- ケアプランデータ連携システムの導入拡大により、介護DXを推進しました。
- EPA等の外国人介護人材の確保・育成を継続し、介護現場の人材確保に取り組んでいます。
- ＪＡ介護職員研修会(４回)・リーダー研修会(２回)を開催し、ＪＡ介護事業所の対応力・技術力の向上を支援しました。

04 看護師養成事業

看護学生の確保策に取り組み、更生・愛北・加茂の3看護専門学校で120名の入学生を確保し、計357名の学生が在籍しました。質の高い看護師を養成するために、ICT教材の活用や教員の教育プログラムの見直しなど教育体制の充実を図りました。

05 働きがいと健康を大切にする組織として

職員一人ひとりが組織への愛着や誇りを育めるよう研修プログラムを実施するとともに各職種の目指す人材像等を整理し人材育成の充実を図りました。また、健康経営に取り組み、健康経営優良法人2026(大規模法人部門)に認定されました。

2026年6月30日、ＪＡあいちビルにて開催された第78回通常総会において全議案原案通り可決されました。

【決議事項】
第１号議案　第78年度(令和７年度)事業報告及び剰余金処分案について
第２号議案　役員の選任について
第３号議案　退任役員に対する役員退職慰労金の支給について

地域とともに、病院はもっと身近に。

特集2

稲沢厚生病院のこの一年

稲沢厚生病院は、地域の皆さまとの距離をもっと縮めたいという思いから、この一年もさまざまな活動に取り組んできました。ブース出展や病院祭、出前講座、キッチンカーの出店、そしてSNSでの情報発信と、暮らしの身近なところで皆さまとつながる機会を広げています。ぜひ、この一年の歩みをご覧ください。

1 健康ブースを出展

＼毎月開催／

Booth

▲ＪＡ愛知西産直広場

＼年２回開催／

▲ＪＡ愛知西感謝祭

ＪＡ愛知西産直広場一色下方店に毎月、年２回のＪＡ愛知西感謝祭にも健康ブースを出展しています。看護相談や血圧測定、野菜摂取量が測定できる「ベジチェック」などを実施し、気軽に立ち寄れる場として好評をいただいています。相談をきっかけに適切な受診につなげたケースも生まれています。

2 80周年記念 病院祭を開催

創立80周年を記念し、「未来へつなぐいのち～地域とともに感謝の80年～」をテーマに病院祭を開催しました。院内探検ツアーや医療体験コーナーは午前中に整理券が終了するほどの大盛況。地元オーケストラや消防本部によるステージ発表も行われ、子どもから大人まで幅広い世代の2,500名を超える方にご来場いただきました。

◀病院紹介パネル

Anniversary Celebration

▲院内探検ツアー

3 Instagramによる発信

産婦人科の情報を発信するインスタグラムを2024年８月に開設し、妊娠・出産・産後ケアや女性特有の疾患など、女性に寄り添った情報を発信しています。好評を受け、11月には病院公式アカウントも開設。イベント情報や院内の取り組みなど、地域の皆さんへの情報発信をさらに充実させています。

▲公式アカウントでは、病院からの風景もご紹介しています。

Communication

▲産婦人科アカウントでは、新生児フォトや院内での取り組みも紹介しています。

4 おとどけ講座

▲公民館で開催

Meeting

医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・リハビリ専門職などが地域の団体や企業、学校などに出向いて健康講座を行う「おとどけ講座」を実施しています。認知症予防体操や生活習慣の改善など、テーマは健康から医療・介護制度、家族とのコミュニケーション術、終活などと幅広く、参加者の皆さんが楽しみながら健康づくりに取り組めると好評をいただいています。

5 キッチンカー・農産物の販売

病院を「地域の集いの場」にしたいという思いから、旧正面玄関前でキッチンカーや農産物販売を定期的に開催しています。地元農家の朝採れ野菜や季節のフルーツ、地域の人気店によるキッチンカーが並び、来院者だけでなく近隣の方も気軽に立ち寄れる場として好評をいただいています。

◀キッチンカー

Kitchen Car

農産物販売▶

病院長 伊藤 浩一

この一年、稲沢厚生病院は地域の皆さまとの「つながり」を大切に、取り組みを続けてまいりました。皆さまの健康づくりをお手伝いするとともに、病院祭では2,500名を超える方にお越しいただき、地域の温かさを改めて感じることができました。当院は、これからも皆さまの暮らしに寄り添い、地域とともに歩み続ける病院を目指してまいります。

Instagramで発信中！

公式　産婦人科

JA 愛知厚生連のホットな取り組みをご紹介します

TOPICS 4～6月

\ホット/ Hot \トピックス/ Topics

4/1　JA愛知厚生連

JA愛知厚生連の入会式を行い、468名の職員を迎えました。

４月１日、刈谷市総合文化センターにて「令和８年度入会式」を執り行いました。期待と希望に胸を膨らませた468名の新入職員が参加し、ＪＡ愛知厚生連の一員として第一歩を踏み出しました。宇野理事長は挨拶の中で、「チームワークと笑顔を大切に、誠実に、丁寧に、目の前の患者さんに向き合ってください」と温かく歓迎しました。新入職員代表の知多厚生病院の澤田さんは「厳しい環境下ではありますが、一日も早く地域医療に貢献できるよう精進したいです。」と、力強く決意を述べました。

4/8　更生看護専門学校・愛北看護専門学校・加茂看護専門学校

看護専門学校の入学式を行い、120名の学生を迎えました。

４月８日、ウインクあいちにて３看護専門学校（更生・愛北・加茂看護専門学校）の合同入学式を執り行い、120名の新入生を迎えました。式典では、新入生一人ひとりの名前が読み上げられ、各学校長から入学の許可とともに、これから看護を学ぶ学生たちへ激励の言葉が贈られました。理事長の式辞に対し、新入生代表として加茂看護専門学校の木下さんが「信頼される看護師を目指し、日々の研鑽に励みます。」と宣誓し医療従事者への第一歩を踏み出しました。

5/7　稲沢厚生病院

産直広場で健康ブースを出展しました。

５月７日、稲沢厚生病院はＪＡ愛知西 産直広場一色下方店にて健康ブースを出展いたしました。今回のブースでは、「ベジチェック」を活用した野菜摂取量測定を実施しました。「ベジチェック」は、手のひらをセンサーにかざすだけで推定野菜摂取量を手軽に把握できることから、多くの地域の皆さまにご参加いただきました。参加された方々は、測定結果に一喜一憂しながらも、測定結果の説明を受けご自身の日頃の食生活を振り返る機会となりました。

JA愛知厚生連のニュースは随時配信中

Webサイトは こちら

Instagramは こちら

5/11　JA愛知厚生連

「愛知県看護大会」にて看護功労者表彰を4名が受賞しました。

５月11日、看護週間に合わせて行われた「令和８年度愛知県看護大会」において、本会職員４名が看護功労者表彰を受けました。表彰を受けた海南病院の廣海副看護部長は、「大変光栄に思います。看護師を続けてこられたのは、周囲の方々の支えがあったからこそです。これからも看護の道に精進します。」と感謝の言葉を述べました。式典後の講演会では、知多厚生病院の近藤看護部長が登壇し、「離島医療の現状と看護の役割」と題した講演を行いました。

6/7　海南病院

海部地方総合防災訓練に参加しました。

６月７日、国営木曽三川公園にて大型台風及び南海トラフ巨大地震の同時発生を想定した海部地方総合防災訓練が実施されました。海南病院は、海部地方５消防本部・津島警察署・蟹江警察署・自衛隊等と災害現場において相互連携して救助・救急・消火活動を行う「大規模災害訓練」に参加しました。訓練では、医師１名・看護師２名・事務職員１名が関係機関と連携し、救出された負傷者のトリアージおよび応急処置を行い医療機関への搬送を行いました。

「看護の日」のイベントを開催しました。

安城更生病院、渥美病院、江南厚生病院、稲沢厚生病院、知多厚生病院、愛北看護専門学校、加茂看護専門学校の５病院・２学校で「看護の日」のイベントを開催しました。看護の日は「看護の心、ケアの心、助け合いの心」を理解し、看護の重要性を広めることを目的としています。
地域住民の方々に多くご参加いただき、賑やかなイベントとなりました。

5/14　安城更生病院

5/15　渥美病院

5/12　江南厚生病院

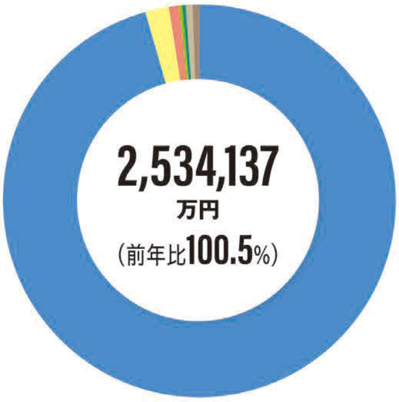
5/14　稲沢厚生病院

5/11-14　知多厚生病院

5/11　愛北看護専門学校

5/1　加茂看護専門学校

事業実績

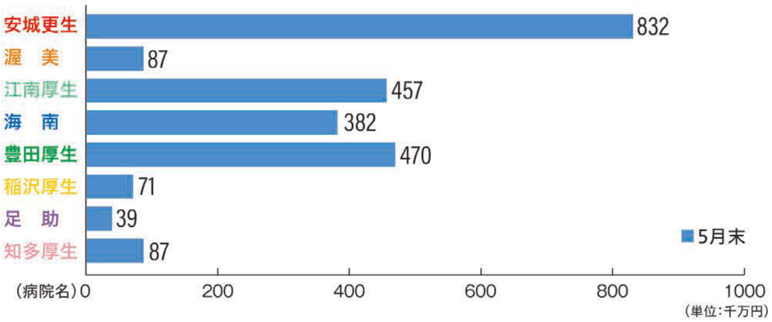


事業実績(5月末)

- 医業収益（除保健予防活動収益）
  2,425,926（前年比100.5%）
- 保健予防活動収益
  50,022（前年比104.2%）
- 老健施設運営収益
  21,187（前年比96.1%）
- 介護医療院運営収益
  3,661（前年比96.1%）
- 訪問看護収益
  10,515（前年比102.5%）
- 老人福祉事業収益
  14,508（前年比100.1%）

(単位:万円)

病院別診療収入



病院別患者数(単位:人)

病院名(ベッド数)	区分	患者数 通計
安城更生 (771)	外来	69,307
	入院	44,628
渥　美 (302)	外来	21,803
	入院	14,322
江南厚生 (630)	外来	53,331
	入院	32,430
海　南 (540)	外来	47,953
	入院	29,793
豊田厚生 (606)	外来	49,689
	入院	32,647
稲沢厚生 (225)	外来	21,307
	入院	10,761
足　助 (148)	外来	10,027
	入院	6,844
知多厚生 (199)	外来	21,217
	入院	10,621
JAあいち健診センター	外来	27
合計 (3,421)	外来	294,661
	入院	182,046

JA愛知厚生連の事業所

各事業所のInstagramはこちら

1 JA愛知厚生連本部
2 安城更生病院
3 渥美病院
4 江南厚生病院
5 海南病院
6 豊田厚生病院
7 稲沢厚生病院
8 足助病院
9 知多厚生病院
10 更生看護専門学校
11 愛北看護専門学校
12 加茂看護専門学校

夏　ＪＡ愛知厚生連広報誌「Ｗｉｔｈ」　No.510　発行日／2026年7月10日　発行／愛知県厚生農業協同組合連合会
編集／本部　企画管理局 経営企画部　TEL 0561-62-3162　本誌に掲載されている内容の無断転載及び複製等の行為はご遠慮ください。

Webサイト

ともに、守り抜く。
JA愛知厚生連